

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉
会 長 小 野 祐 司

梅花の候、皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、本事業にひとかたならぬ御厚誼を賜り誠にありがとうございます。

本年も無事に第 11 回生徒研究発表会を開催できましたことを御報告いたします。現状を踏まえ、昨年同様に「動画とポスター」による発表といたしました。

研究発表のテーマは「製作（制作）」が半数を超え、さすが工業系と嬉しく思いました。動画やポスターを拝見すると高い工作力を発揮した立派な作品も見られ驚きました。中にはコントローラーを小さくすれば「すぐにでも買い手がつくだろうなあ」と思わず呟いてしまった発表もありました。

また、プレゼン動画がことのほか素晴らしく、すぐにでも YouTube にアップしたいと思わせる作品も複数あり、高校生の皆さんの感性のすばらしさを感じました。本当に素晴らしいです。

また、1年間の課題研究の時間だけでは、結論まで導くことが難しいと思われる研究もありました。研究をさらに深めるためには、相当な勉強が必要になったと痛感された生徒さんもいたのではないのでしょうか？教科書や専門書、インターネットで調べたり、担当の先生の指導を受けるとともに、企業や大学・専門学校の方々との繋がりが選択肢に含まれるようになり、計画の幅が広がり、学校外の交流がとても大切であることを実感していることと思います。

これからの課題研究は、単なるものづくりに留まらず、産・官・学と積極的に交流を図り、地域と連携して研究を進めることが大事になってくることと思います。研究の背景をしっかりと捉えて、研究の目的をしっかりと設定して貰いたいと感じます。

また今回も市原市立東海中学校の皆さんによる評価も加算されていますので、より幅広い視点からの評価となっていることをお伝えいたします。

最後になりますが、協力して頂きました企業様大学様をはじめ関係者の皆様に深く感謝申し上げます、挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。